



事務所のスタッフ（竹内所長は右から2番目）

# 海外駐在員インタビュー Working Abroad

日華化学株式会社

バングラデシュ・リエゾン事務所

所長 竹内 幸太郎 さん

グローバルな仕事って、どんな仕事？ 県内企業の海外事務所まで働く駐在員の仕事内容やライフスタイルを紹介する連載企画。第1回は化学メーカー日華化学のバングラデシュ事務所に勤務する竹内幸太郎所長にお話を伺いました。

**Q・** 現在勤務しているバングラデシュについて教えてください。

バングラデシュはインドとミャンマーに接する国で、日本の4割ほどの国土に約1億6千万人が暮らしています。かつては世界最貧国と言われていましたが、近年首都ダッカの経済発展はめざましく、豊富な労働力と安い人件費を背景に繊維産業が急成長しています。当社の事務所はダッカの中心部にあり、私のように現地スタッフが8名勤務しています。

**Q・** 現在、どのような仕事に携わっていますか？

当社は繊維加工用薬剤を取り扱っており、バングラデシュ国内でパレル製品の生地や糸の染色・仕上加工に使用される薬剤を販売しています。生産された製品の8割以上は

欧米の有名ブランド向けに輸出され、また、日本でもファストファッションを中心にメイドインバングラデシュがメジャーになりつつあります。どの工場も品質向上とコストダウンに命懸けであるため、ニーズに合った技術指導を行い、顧客の利益に貢献して対価を頂く仕事です。

**Q・** 海外事務所に勤務して特に驚いたことはありますか？

当地はイスラム教徒が多く、一日に5回コーランが街中に響き渡ります。また、素手でご飯を食べる文化にも驚きましたが、指先で混ぜ合わされたカレーは口に入れた瞬間から香りや味を楽しめるため、今では私も当然のように素手で食べています。一方、街には活気が溢れ若者の向上心が高く刺激的です。公用語のベンガル語は難解ですが、当社の現地社員を含め、多くの人々が流暢な英語を話せるため仕事はとてまやりやすいです。

**Q・** 休日はどのように過ごしていますか？

駐在員仲間と食事やゴルフ、

ウォーキングを楽しんでいます。車移動が多く運動不足になりがちなので健康管理に気を付けています。日本食は少ないですが、市内にはおいしいハンバーガー店などがあり携帯アプリを使った出前も充実しているため食事に困ることはありません。イスラム圏なのに国産ビールがあるのも面白いですね。会社の手厚いサポートにも感謝しています。

**Q・** 最後に、海外で働く魅力について教えてください。

発展途上国や貧困国に来ることで改めて日本の素晴らしさ、日本人であることの有難さに気づかされます。間違いなく厳しい環境ですが、圧倒的に視野が広がり人間的な成長を感じることも多いです。もし、海外で働ける機会があるなら、ぜひそのチャンスを臆せず掴み取ってほしいですね。若いうちに行けるとよいと思います。



現地マネージャーとの食事